

※ 応援団登録していただいた方には郵便又はメールでお届けしています。

令和2年6月発行

広尾っ子応援団だより (No.24)

広尾っ子応援団本部事務局（教育委員会社会教育課）電話 01558-2-0181

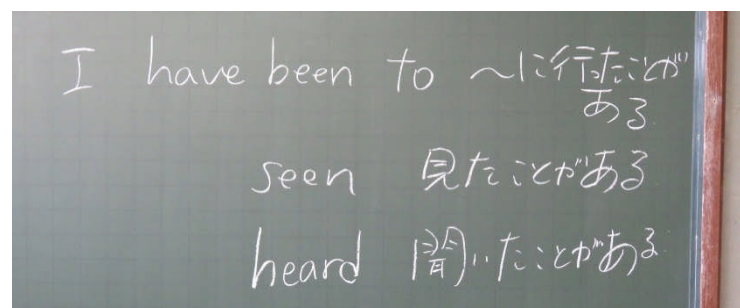


英語で「経験」を伝える…広尾中3年英語科

6月19日（金）、3年生のクラスで英語の授業が行われました。この授業は、学校全体の重点教育目標を目指しています。

英語科では目標を国際理解の視点から捉える必要があります。担当の土井先生は、「自分の経験したことを相手に伝えることは大切。『互助の精神』に繋がる」と、この単元を「重点教材」にした理由を説明してくれました。

授業は、ALTのジェニファー先生とのチームティーチングで行われました。“Have you lived in Hiroo for long time? Yes I have.”などの基本的な表現を、2人ペアで、役割を交代しながら何度も練習した後、自分の経験を英語で表現することに取り組みました。「私は沖縄に行ったことがあります。」「私は熊の肉を食べたことがあります。」など、それぞれの経験をプリントに記入していました。



広尾中の「学校運営の基本方針」を承認

延期されていた学校運営協議会が開かれ、「学校運営の基本方針」が承認されました。
 (重点教育目標など教育課程は広尾っ子応援団だよりNo.21に掲載)

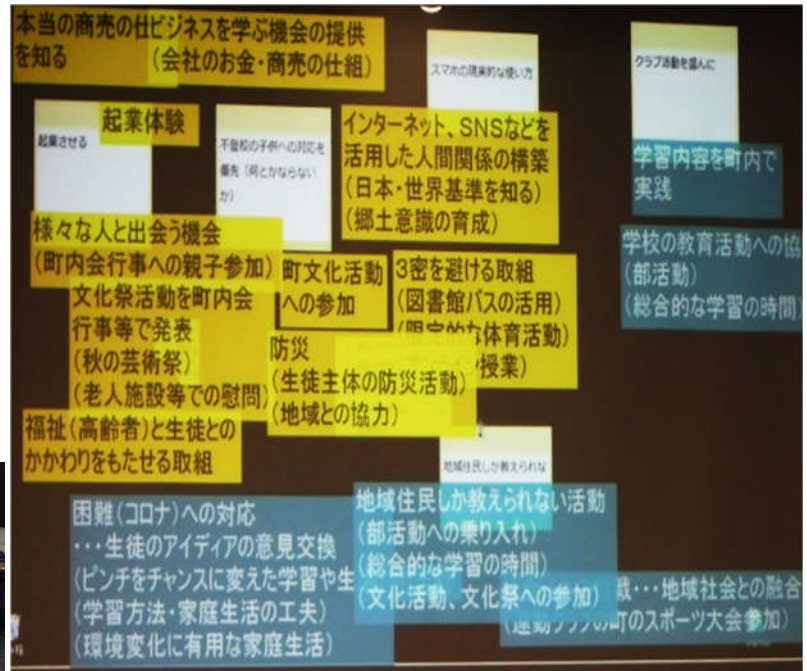
学校運営の基本方針の説明の中で、松橋校長先生から「学校運営協議会で出された意見を参考にして『互助の精神』を重点教育目標にした。学校ではこの目標の実現のため、各教科で重点教材を設定し、教職員みんなで取組んでいく。」と力強い説明がありました。

互助の精神をはぐくむための

「地域・家庭の方策」を熟議

次のような意見が交流されました。7月の学校運営協議会で実行策を決定します。

- 学校の学びを生かした交流機会
- ネット環境を生かす教育
- ビジネスを学ぶ機会の提供
- コロナへの積極的な対応



応援メッセージをいただきました

再登校の始まった6月1日の朝、登校中にマスクをつけてくるのを忘れたことに気付いた1年生の子が泣いていたという話を聞きました。

マスクのこと気付いただけでもえらいと思いますよ。

朝、先生や友達に会えることを思って、きっとワクワク、ドキドキしていたことでしょうね。久しぶりの登校で準備することもいっぱいあって忘れてしまったのかな？

コロナで今までとは少しちがう生活になるけれど、一緒にがんばりましょうね。
 (町内60代 女性)

応援メッセージをいただきました

ある日の練習で、居残りをして一般の人と練習をした後、率先してボールを拾ってくれたドラゴンラインの騎士(ナイト)たちよ。

競技力の向上もうれしいですが、君達の間人としての成長が感じられ、本当にうれしい瞬間でした。

君たちの頑張りが認められ、応援される人へとようになっていくよう願っています。

まだまだ、厳しいことばかりを要求していきますが、いつかは君たちと、まちづくりや人づくりの話をしながら、杯を交わす日を夢見しています。

それまでは、修行の日々です。

(一人ダッシュ村の住人より)